

福井大学学術交流協定校への派遣留学(交換留学)月例報告書 (2月分)

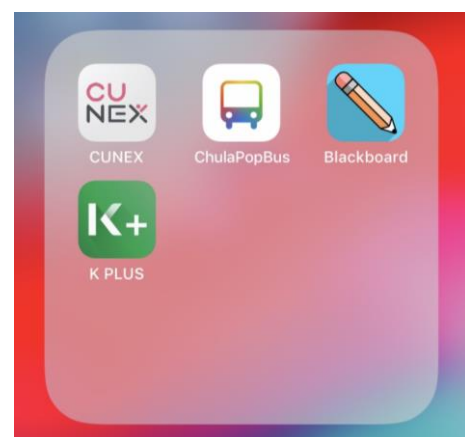
留学先大学: Chulalongkorn University

氏名: 井口 健

こんにちは。今月はスケジュール張を見てもほぼ毎日予定が入っているようなとても充実した日々を過ごせました。今回はチュラでの生活を支えてくれる優秀なデジタルコンテンツと、最近あった出来事をお話しできたらと思います。

【Chula お役立ち情報～デジタルコンテンツ編～】

Chula には大学生活をサポートしてくれる様々なデジタルコンテンツがあります。まず一つ目は CU NEX というアプリで、大学のイベント情報やスケジュールなどが更新されています。実際あまり使いませんが、デジタル版の学生証を表示できたり、図書館やジムのゲートを通るのに必要な QR コードを発行できたりするのでインストールしています。(ちなみに学生証でも図書館やジムは入れます。)



次は CU POPBUS です。なにやらファンシーな名前だと思う人もいるかもしれませんが、これで大学のシャトルバスが今どこにいるのかを確認できます。シャトルバスは1～5までの番号があり、それぞれの番号で走るルートが違います。さらに同じ番号のバスが5、6台ずつ走っているのでもそまで待たずに乗ることができます。私の場合は乗るバスの番号もバス停もいつも一緒なのでバスの位置はあまり確認しませんが、いろいろな種類の番号のバスを使う人にとっては便利だと思います。

次に紹介するのは Blackboard というアプリです。これは Chula だけが使っているアプリではなく、GCS で使っていた Scoology をイメージしてもらえば分かりやすいと思います。授業のスライドや教授からのアナウンスなどがここにアップロードされて、それを24時間いつでも閲覧することができます。日々の予習復習やテスト前の勉強もこれを使いながらするので、今回紹介しているものの中では一番使っていると思います。ちなみにいつもはパソコンからアクセスしています。

最後に紹介するのは Kasikorn Bank(以下 K バンク)のアプリです。チュラの学生証を発行する際に口座を発行する必要があり、その時にアプリも一緒にインストールします。このアプリを使ってタイの特に若者の間ではキャッシュレス化がとても

進んでいるなど感じました。残高確認や出入金の通知がくる基本的な機能はもちろん、QRコードを読み込むことで他の人の口座に送金をすることもできます。友達とご飯に行った時はこのアプリを使って割り勘をするのが普通で、現金で返そうとすると少し驚かれることもあるほどです。

【写真で振り返る2月】

2月の半ばにミャンマーのヤンゴンに行ってきました。間違いなくミャンマーは大学生になってから行った国の中で一番良かったです。理由は McDonald や Starbucks などの海外資本がほとんど見られなかったのと、写真でもわかるように有名なお寺でも現地の人がたくさんお祈りに来ていて文化や慣習が残っていたことです。(タイのお寺は観光客ばかり。) ヤンゴンでは現在インフラの整備を急速に進めています、ミャンマーの文化やあのローカル感はずっと残り続けることを願っています。



Food and Culture の授業を一緒に受けているミャンマーの友達が見せてくれた一枚。この日は授業のあと一緒にカフェに行って私のミャンマー旅行の話をしていたのですが、彼もまた日本に行ったことがあり訪れた先はなんと福井！よく見るとわかると思いますが、この写真は福大のお昼の定食メニューです。留学して以来、日本のどこに住んでいるの？という質問に福井と答えると、どこ？と毎回言われていたのですが、ここにきて福井に、しかも福大に来たことがある学生と出会うとは思いませんでした。



この日はみんなでご飯に行って、その後友達の超高級コンドミニアムでカラオケ大会をしました。多国籍カラオケのときは洋楽を最低2曲は歌えないとついていけなくなるということを学んだので、留学生活も残り3ヶ月ですが今後の人生のためにも洋楽の練習をしたいと思います。

